上海FDKにおける事業再編について

FDK株式会社(社長:杉本俊春)は、上海、江蘇地区のフラットパネルディスプレイ市場の拡大に対応して、上海地区の子会社である上海FDKでLCD用ハイブリットモジュール事業を開始することを決定いたしました。これにより、既存のインバータトランス事業の強化を含めて、同拠点をフラットパネルディスプレイ向けを中心とした製品の供給基地として事業の強化を図ってまいります。

中国上海市および長江デルタ地域は、パソコンやLCDパネルメーカー等が集中し、ハイテク製品の一大生産基地として拡大を続けています。LCD用ハイブリッドモジュールの拠点としては既に 2001 年に蘇州FDKを設立し、蘇州地区のお客様を中心に供給していますが、上海FDKを活用することにより、上海地区のお客様に対する供給体制が整うとともに、両拠点の連携により、よりきめ細やかな対応が可能となります。

なお、同社で生産しておりますフェライト事業につきましては、本年度上期中に南京地区の新合弁会社に移管する予定であり(別途リリース「南京FDKと中国金寧三環高技術磁業有限公司(金寧三環)との合併について」参照)、今後同社はフラットパネルディスプレイ用のモジュールおよびインバータトランスを中心とした部品、モジュールの拠点として強化を図ってまいります。

以 上

<参考>

上海FDKの概要

商号 上海松江富士電気化学有限公司(略称:上海FDK)

(英文: Shanghai FDK Corporation)

代表者 佐々木 勇

所在地 中華人民共和国上海市松江工業区東区大道499号

設立日 1995年8月8日

人員 1,315名(2004年3月現在) 売上高 3,480百万円(2003年度実績) 生産品目 コイルデバイス、各種フェライトコア

出資 FDK株式会社 (100%)

本件への問合せ先 FDK株式会社 企画戦略室 コーポレートコミュニケーショングループ 担当 成重 電話 03(3434-1271)